

相撲競技会におけるガイドライン

2022 わんぱく相撲大会新発田場所
実行委員会

本ガイドラインは「相撲における競技会再開ガイドライン」（公益財団法人日本相撲連盟競技委員会より）を参考とし作成しました。地域の感染状況など十分に考慮した上で、以下の留意事項を遵守し競技会を開催したいと思います。

【競技会開催準備】

1) 大会要項等の作成

- ・「留意事項」は大会プログラムに掲載し、徹底を図る。

2) 会場設営

- ・適切な場所にアルコール消毒場所を設ける。
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（トイレ、支度部屋等）の消毒、換気を定期的実施する。支度場所については人数を確認し、多くの人が集まらない配慮を行う。
- ・役員、監督、審判、来賓者控室にはアクリル板を設置する。
- ・東西の土俵際では選手、副審の距離を可能な限り保つ。

【健康管理】

1) 主催者は、参加者（選手、役員、設営者、監督、審判、来賓）に対し、当日の体温の他、大会前2週間における以下の事項の有無について確認を行い、チェックリストに記載する。

- ・平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
- ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・新型コロナウイルス感染症陽性と判断させた方との濃厚接触がある
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がある場合

2) 主催者は、参加者のうち当日の体温が平熱を超えるものや、1)の各事項について該当するものに対し、参加の見合わせを求める。

【当日受付】

- 1) 窓口に消毒液の配置。
- 2) 参加者への検温の実施。
- 3) 人と人が対面する場所には、アクリル板を設置。
- 4) 受付スタッフはマスクを着用。
- 5) 入場者に対し、マスクの着用を求める。
- 6) 健康管理を行うものを別途配置し、【健康確認】 1) の各事項についてチェックを行い該当するものに対し、入場を制限する。

【参加者の行動】

- 1) 選手は競技時以外マスクを着用。
- 2) 選手以外の参加者は終始マスクを着用。
- 3) 出場選手は取組前後に、手指、顔面、胸、肩等の消毒に適した消毒液やアルコールティッシュなどで自分の体表面を消毒する。
- 4) 参加者同士、応援者の大声での声援、指示、指導は禁止とする。
- 5) 主審以外の審判は競技中もマスクを着用する。
- 6) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告する。

【主催者の対応】

- 1) 主催者は、新型コロナウイルス感染症対策の「会場責任者」を指名し、会場の「感染防止策」に努めさせる。
- 2) 「会場責任者」は消毒、換気等の対策が順守されているか、巡回、確認する。
- 3) 「会場責任者」は感染予防に反する行為を見かけた場合は口頭注意をし、改善させる。
- 4) 表彰式時、表彰者はマスクと白手袋を着用し、選手はマスクを着用する。
- 5) スポーツ施設利用時の感染拡大防止チェックリストを会場の見やすい場所に掲示し、参加者に感染防止対策の内容を周知させる。
- 6) 新型コロナウイルス感染症拡大の状況判断により、応援者（保護者）の人数に制限をかける。

【その他】

- 1) 飲食ブース出店者についてもマスクと手袋を着用してもらう。
- 2) 飲食の際は、周囲の人となるべく距離をとり会話は控えてもらう。

参考：「相撲における競技会再開ガイドライン」（公益財団法人日本相撲連盟競技委員会より）